

# すきやねん

**第41号**  
 令和4年12月23日  
 発行所 周積公民館  
 住所 〒629-2503  
 京丹後市大宮町周積  
 周積区(自治会)内  
 ☎(0772)64-4417(自治会)

<b>周積区人口</b>	
<b>745戸</b>	
男:861人	女:925人
<b>計:1,786人</b>	
(R4.4.1現在)	
<b>第一小学校</b>	男子:47人
	女子:61人
<b>計:108人</b>	
<b>大宮中学校</b>	男子:31人
	女子:25人
<b>計:56人</b>	

## 陶芸・染色体験

陶芸染色体験教室会長 田中博之

今年度は7月31日にP.T.Aの皆さん

の協力のもと周積区民の方々に染色

陶芸体験を楽しんでいただきました。

昨年と同じように三密を避けるため体

験できる日数を増やして開催しまし

た。染色体験に40名、陶芸体験に28名、

合計68名の方に参加いただき「色を混

ぜて塗るの楽しい」「粘土が思うように

ツルツルにならない」「子どものこんな

真剣な姿が見られて嬉しい」など喜び

の声をたくさんいただきました。

今後もP.T.A

の方々を中心に

皆様に楽しんで

いただけるよう

活動を進めてい

きたいと思いま

すのでどうぞ宜

しくお願いいた

します。



「今年もたくさんの方が参加されました」



「親子で奮闘中です」



「どんな形にしようか」



「色を選ぶのも面白い」



## 大宮町一周駅伝大会 周積チームが大活躍

Aチーム1位・Bチーム5位



「1位でゴール!!!」

松村成規体育部長を先頭に公民館  
 体育部の皆さまには準備や練習のお  
 世話係りを務めていただきました。ま  
 た、沿道では多くの区民の方が選手に  
 声援を送って下さいました。重ねてお  
 礼申し上げます。

大宮町一周駅伝大会で周積チーム  
 が大活躍しました。11月27日(日)に行  
 われた大会に周積は二チームが出場  
 し、Aチームが1位、Bチームが5位  
 という好成績をおさめ、区間賞も六人  
 が獲得されました。選手の皆さんの健  
 闘をただえたいと思います。



「チームワークの勝利だー!!」



# 周枳区文化祭

区民の方々の作品展示に加え遺跡  
 発掘品の特別展示、野外舞台のコン  
 サートイベント会など賑やかな一日  
 を楽しんでいただきました。

作品展示は公民館文化部(河島克行  
 部長)の皆さんやPTA役員の皆さん  
 にお世話になりました。



「フシリアアさんのフラダンス、アロハ〜」



バルーンアート



「ジャクラーかいゆうさんの  
 大道芸」



「ランスモアさんの楽しい歌声」



発掘出土品  
 特別展示



色々の作品が  
 集まりました！



包丁砥ぎ



マツナーシ体験



フリーマーケット



## 周枳区の話題

### 敬老の日

#### 長寿の秘訣

新型コロナウイルスの影響で今年も敬老会が中止となり、対象の皆さんには福祉委員さんや民生委員さん、評議員さんか敬老のお祝い券をお届けしました。周枳の最高齢者の田中千代乃さんには西区長と田嶋副区長が持参し、長寿のお祝いをお伝えしました。

長男の田中宏明さんに日々の様子をうかがうと特に食べるものに気を付けている訳でもなく、日々よくよせず、何でも食べます。これといった趣味もなくやりたいたいこともないようです。週四日のデイサービスを利用させていただきます、それが何よりも楽しみで、生きがいを感じているように思います。このことです。これからもますますお元気で抱遇してください。



周枳の最高齢者 田中千代乃さん  
1924年(大正13年生) 98歳

## 周枳区の話題

### PTA木積山登山



9月25日(日)

前日までの雨もあがり、絶好の登山日和となりました。昨

年はコロナの影響で中止となった木積山

登山ですが、今年は無事に開催することができました。

公民館に集まった児童と保護者と共に木積山へと向かいます。途中、その昔、木積山にあったと言われている薬師堂の前を通ります。登山の無事をお祈りし、先へ進むと農道を抜けた先に登山口があります。事前に周枳区評議員と営農組合の皆さんに手伝っていただいて登山道整備をさせていただきましたので、とても登りやすくなっています。登り始めると子どもたちは元気なのですが、ついてあがる保護者の方は息があがってお疲れさみでした。山頂までは、約一時間ほど登ることができません。子どもたちなので毎年続けて行ければと思います。



### 季節の便り

#### しめ縄作り

周枳営農組合と農事組合の皆さんが今年も大宮売神社のしめ縄を作られました。大量の稲わらを手作業で選り分け、長年のコツでしめ縄の形を整えます。年末に大宮売神社に奉納され、去年のしめ縄と取り替えられます。

### 菰つり行事

大宮売神社の菰つりは、神社の建物や雪から守る「雪囲い」を取り付け、毎年冬を迎える時期に行われる恒例行事です。今年も11月27日(日)に関係者の方々によって行われました。

気象のことわざをインターネットで探しているところ、柿の実の多い年は寒気厳しい、ということわざを見つけた。今年も柿が豊作です。

この冬は寒気がきびしく大雪になるのでしょうか。



# すずはんすずはんすずはん

周枳に住む〇〇が好きな人に  
会って「すずき」の魅力を聞きます

今回ご紹介するのは、毎週末、周枳グラウンドで大宮サッカー少年団の指導をしておられる、サッカー大好きな平林直紀さん(49)と熊切達雄さんの平林直紀さん(49)と熊切達雄さん(42)のお二人です。サッカーを本格的に始めたのは、平林さんは高校の部活から、サッカーが盛んな静岡出身の熊切さんは大学時代のサークルからだ

そうです。



平林直紀さん



「大宮サッカー少年団の代表です」  
熊切達雄さん

サッカーを  
「面白  
い」と思える瞬  
間はどんな時  
ですか？と聞  
くと、平林さん  
は「足でボール  
を扱うのは簡  
単じゃないの  
で、それが上手  
く出来た時」、  
熊切さんは  
「ゴールだけ  
じゃなく、予想  
もできないフ  
ーや、人ので



「子どもたちの元気な声が響きます」



きないフ  
ーが出来  
た時「相手  
をかわせた  
時」だそう  
です。

周枳グラウンドについては「こんな素晴らしいグラウンドは滅多にありません、練習に使わせていただき、感謝しています」「お礼の気持ちを込めてグラウンドの草刈りをしています。多くの区民の人たちが集う賑やかな場所になって欲しいです」とお二人声を揃えて言って下さいました。

大宮サッカー少年団の指導では、大人になってもサッカーを続けるように、サッカーの面白さを教えながら、友達や対戦相手を尊重するなど、社会性を身に付けることも大切にしていく、とのこと。ワールドカップサッカーで日本中が盛り上がりまして、周枳グラウンドで育った子どもが、世界のピッチで活躍してくれたり嬉しいですね。



「草刈りも頑張っています」

## 熊野古道 四季折々

熊野古道を歩いた。熊野には、古代から中世にかけて本宮、新宮、那智の熊野三山の信仰が高まり、上皇・女院や庶民に至るまで多くの人が参詣の為に訪れた。熊野古道には「紀伊路」「中辺路」な路、「大峯奥駈道(おのみねおくがけみち)」などがある。

今回、大学時代の友人に誘われて中辺路の中でも特に険しいといわれている大雲取越(小雲取越を一泊二日の行程で歩いた)西国三十三所第一番札所である那智山青岸渡寺の横から熊野古道に入った。すぐに杉林の中に石畳の古道が続き、いにしへの雰囲気を感じ出して

茶屋があり、多くの旅人が足を止め眠っていたのだから、想像しながら少し休憩をした。このく杉林の中、後延々と続く古道を三つの峠と所々ある



熊野本宮大社

茶屋跡を越えて一日目の宿がある小口に着いた。

二日目の小雲取越は、最初に急な登りが続いたが、大雲取越に比べてアップダウンも少なく、比較的楽な行程であった。そして、この中で唯一展望が開けた熊野の山々が一望できた。

熊野本宮大社に着き参拝をして今回の旅を終えた。自然崇拜を起源に持つ熊野三山は、科学や医学などが進歩していない当時の人々にとって信仰は生きていく上で大きな心の支えであった。大雲取越(小雲取越を一泊二日の行程で歩いた)西国三十三所第一番札所である



石畳の古道

登立茶屋跡

那智の滝

「百聞くらからの眺望